この取扱説明書は必ずガレージドアの使用者にお渡しください。

三和の
住宅用ガレージドア

クッキー

取扱説明書

ガレージドアの操作、安全情報、またメンテナンスについては、この取扱説明書を読み、すべての警告、注意に従ってください。今後のご使用にあたって、この取扱説明書を大切に保管してください。

目次

1	ご使用上の注意	1
2	各部の名称	4
3	耐用年数と回数および使用条件	5
4	操作方法	5
5	手動切替の方法	8
6	障害物検知装置の説明	10
7	自主点検	12
8	メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ	14
9	お手入れの方法	15
10	警告ラベルの貼付位置	17
11	故障かな？と思ったら	18
12	製品保証に関する説明	19
13	故障における修理連絡先	19

三和シヤッター工業株式会社

このたびは、三和シヤッターの住宅用ガレージドア「クッキー」をお買い上げいただきありがとうございます。
ガレージドアは強力なスプリングと電動オペレータにより動く大きくて重いドアです。したがってこのドアは、取扱いを誤った場合に開口付近に立っている方や開口部付近のものに危害を与える可能性がありますので、お客様とご家族の安全を確保するためにこの取扱説明書を必ずお読みください。この取扱説明書に関するご質問、あるいは分かりにくい点などがございましたら、お手数でもお近くの三和シヤッター工業（株）営業所もしくはお客様相談センターにお電話ください。

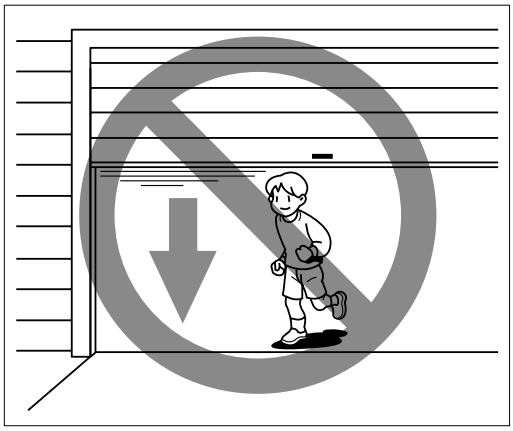
安全にお使いいただくために

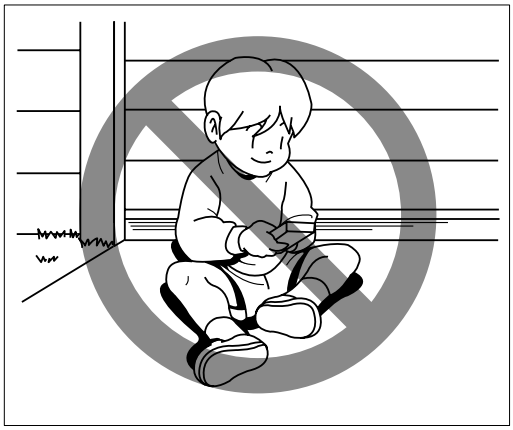
この取扱説明書では、警告、注意という言葉とマークを使って重要な安全情報を強調して示しております。

警告 ・ 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。

注意 ・ 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示しています。

1 ご使用上の注意



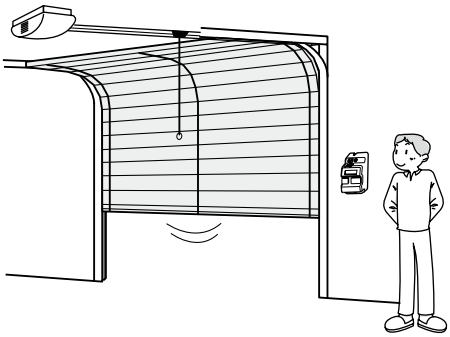


警告

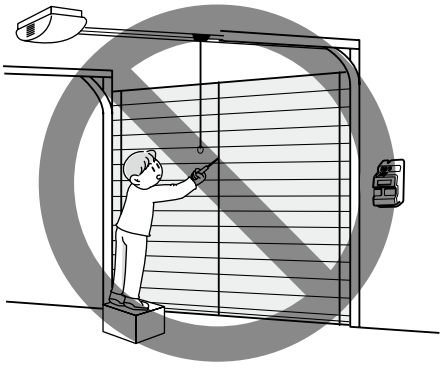
開閉中のドアにはさまれて死亡、または重傷を負う可能性があります。

- ドア開閉中はドアの下に立ったり、通り抜けないでください。
- 毎月、障害物検知装置の点検を行ってください。（10ページ参照）
- お子様にドア、あるいはスイッチ、リモコンで遊ばせないでください。

修理、調整は、適切な工具を使っている専門のサービスマン以外行うことはできません。



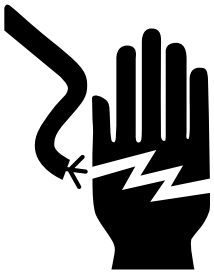
- ドアの開閉が完全に終了するまでドアまたはスイッチから離れないでください。
- 近くに人や物がないことを確認の上、操作してください。



⚠ 警告

本体の分解・改造は行わないでください。故障により死亡、または重傷を負う可能性があります。

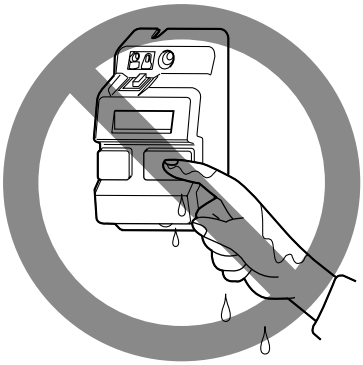
- 水平レールカバーを取り外さないでください。
- パネル投入口カバーを取り外さないでください。
- 連結ピンを取り外さないでください。
- レールを取り外さないでください。



⚠ 警告

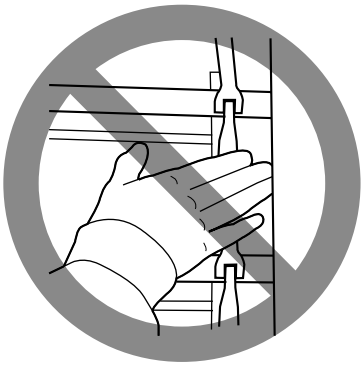
電気ショックにより死亡、または重傷を負う可能性があります。

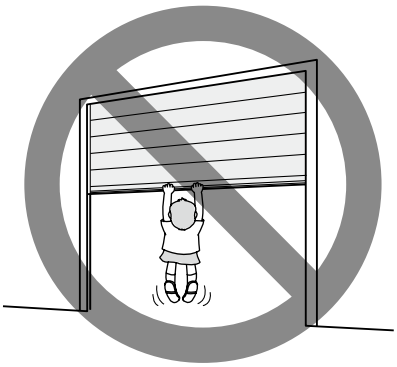
- 電動オペレータのカバーを外す前には、電源を切ってください。
- 濡れた手でスイッチの操作をしないでください。



※ 各部品の名称については、4ページを参照してください。

修理、調整は、適切な工具を使っている専門のサービスマン以外行うことはできません。



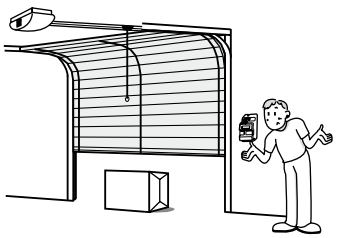


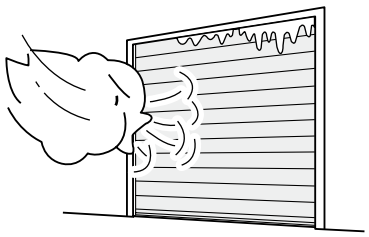
⚠ 警告

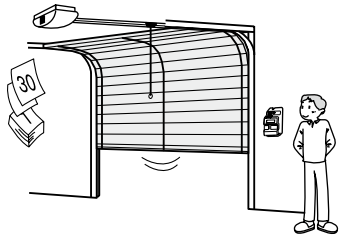
ドアの開閉中に、パネルおよびレールには手を触れないでください。重傷を負う可能性があります。

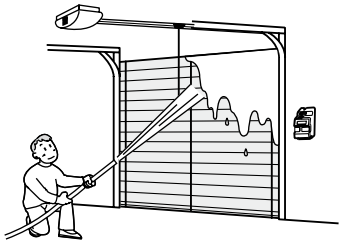
- パネルとレールのすき間に手や指を入れないでください。
- パネルやレールにぶら下がらないでください。
- ドアの開閉中に回転部に手や指を入れないでください。

※ 各部品の名称については、4ページを参照してください。









⚠ 注意

次のような注意を守らないと、軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

- ドアの下やレールに、開閉の支障となるような器物を置かないでください。ドアや器物を破損する恐れがあります。
- 台風など強風時にはドアを動かさないでください。また、パネルの凍結や、ボトムゴムが床に凍りついた場合は、無理に開閉しないでください。ドアが壊れる恐れがあります。
- 最低1ヶ月に一度はドアの開閉を行ってください。
- スイッチやオペレータなど電気部品の周辺には水をかけないでください。漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。

※ 各部品の名称については、4ページを参照してください。

5 手動切替の方法

停電時に、ガレージドアの内部側から手動操作へ切り替える方法です。

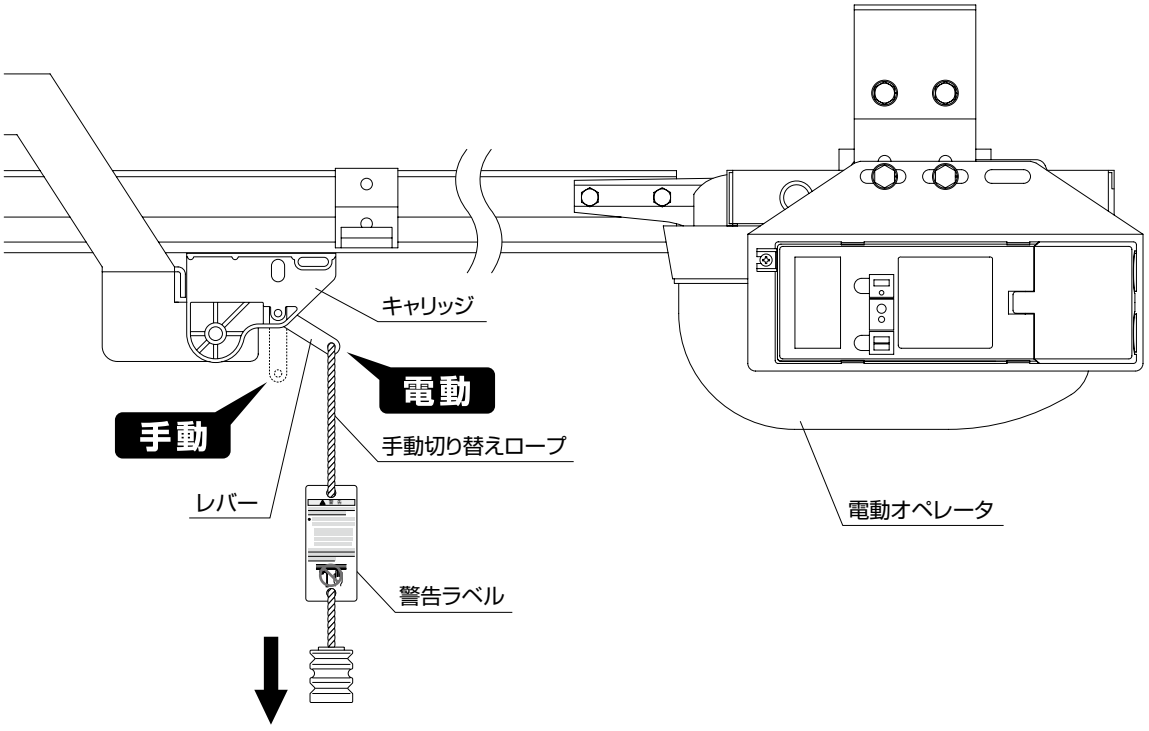
⚠ 警告

手動操作への切り替えは、停電時以外は行わないでください。

- 開放状態で切り替えを行う場合は、ドア付近に人や物がないことを必ず確認してください。

  スプリングやワイヤーの故障によりドアが停止した場合、手動操作への切り替えを行うとドアが急降下する恐れがあります。停電時以外でドアが停止した場合は、手動操作への切り替えは行わず、P18「11.故障かな?と思ったら」に従って対応してください。

■内部側からの操作



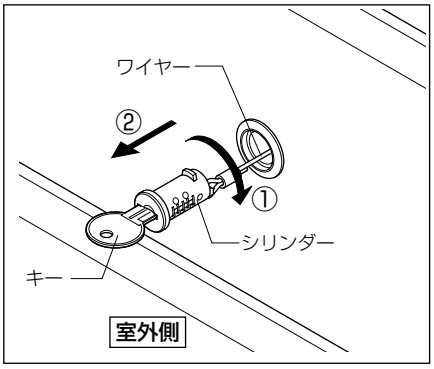
手動操作への切り替え

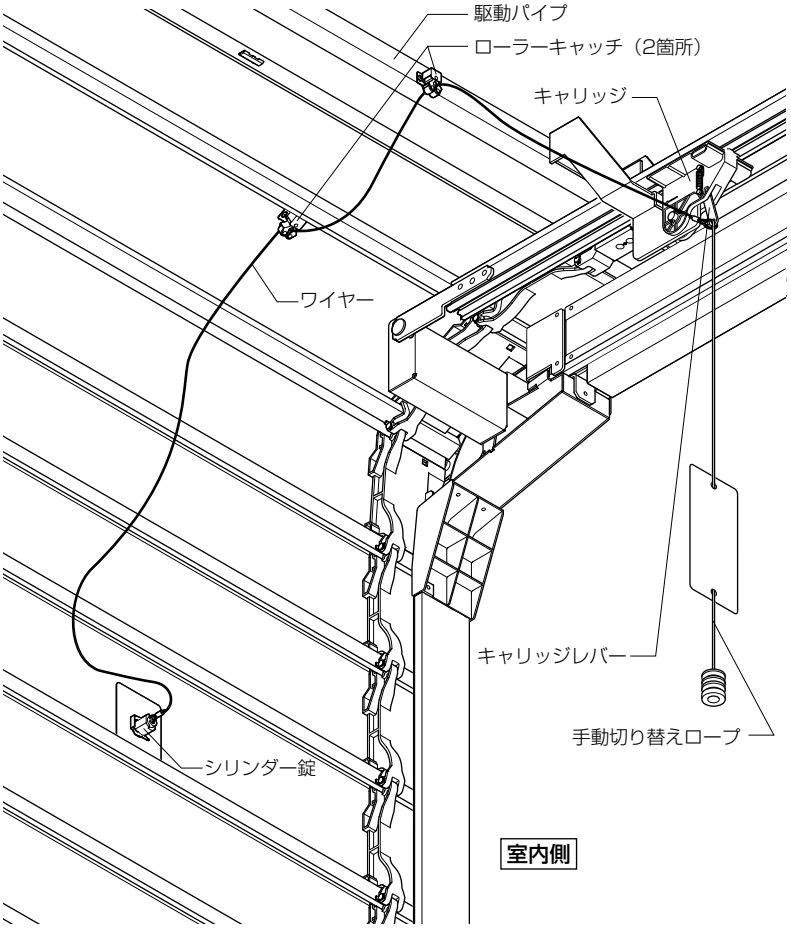
手動切り替えロープをゆっくりと下へ引っ張ってください。**キャリッジのレバーが下がり、ドアと電動オペレータの連結が外れて、ドアは手動で操作できます。**

電動操作への復帰

キャリッジのレバーを押し上げて、確実に連結してください。

■外部側からの操作（オプション）





手動操作への切り替え

① 上から6枚目のパネルに付いているシリンダー錠に付属のキーを差し込み、時計回りに90度回転させ、そのままシリンダーを抜きます。

② シリンダーに結ばれているワイヤーを70cm以上引っ張ると、キャリッジのレバーが下がり、ドアと電動オペレータの連結が外れます。

③ キーを入れたままシリンダーを元の穴に戻し、しっかりと押し付けた状態でキーを反時計回りに90度回転させてキーを抜きます。

④ ドアは手動で開閉できます。
※必ず③を行ってからドアを開けてください。

電動操作への復帰

① ドアを全閉にします。

② 上から2枚目のパネルと駆動パイプに付いているローラーキャッチに、ワイヤーを差し込みます。

③ キャリッジのレバーを押し上げて、ドアと電動オペレータを確実に連結してください。

④ 壁スイッチまたはリモコンで操作し、ワイヤーがローラーキャッチから外れないことを確認してください。

※手動操作から電動操作への復帰時は、ドアの開閉速度が遅くなる場合があります。
これはドアの全閉・全開位置を電動オペレータが認識するために起こる現象であり、故障ではありません。
数回開閉させると、通常の速度になります。